



ミスを許した数だけ子は伸びる？

親子に接する仕事をしていると親が子どもに対して「無理な注文をしている場面」に出合います。どんな無理かというと

1. 年齢的に早すぎる無理

親が我が子に対して期待することをとがめるつもりはありませんが、多くのお母さんは、子どもにする注文が年齢的にあまりにも早すぎます。(特に第一子の子に対して)どのくらい早いかというと3歳から5歳も年上のレベルです。例えば3歳の子に5歳のレベルを求めると2年間も同じ注文(注意)をすることになり、効果がないばかりか「この子はダメだ!」と決めつけ、ようやく効果が出る年齢(今でしょう!)になった時には諦めてしまう例を見かけます。

2. 注文の数が多すぎる無理

大人でもひとつのことを身に付けるには、かなりの回数と時間が必要です。まして幼児や小学生ではそう簡単に親の求めることが身に付きません。簡単と思われることでも2年も3年もかかって身に付きます。

効果を求めるのであれば「待つ勇気」と子どもに「笑顔で接する心のゆとり」を持つ方が近道になります。

二つのことをひとつにまとめると幼少の子どもに対し親の望みが大きく多すぎる。親の思い通り効果を上げるには、子どものミスを貴重な経験と考え見守るゆとりが大切です。 まっく代表 向井 忠義